

1 調査の概要

(1) 目的

乳幼児期及び少年期(児童生徒)の歯科保健状況の総合的な把握を行い、地域の現状及び課題等を明確にし、効果的な地域歯科保健推進を図るための基礎資料を得ることを目的とする。

(2) 調査方法

① 対象

本調査の対象は、平成 29 年度に市町村で実施した歯科健康診査を受診した 1 歳 6 か月児及び 3 歳児並びに平成 30 年度に県内の保育所、幼稚園、小学校、中学校及び高等学校等で実施した定期歯科健康診断を受診した園児、児童、生徒とした。

なお、調査は分校も 1 施設とし、義務教育学校は小学部、中学部に分けて各々 1 施設、また、特別支援学校(盲・聾・養護学校)は幼稚部、小学部、中学部、高等部に分けて各々 1 施設とした。

圏 域 名	保育所・幼稚園			小学校			中学校			高等学校		
	施 設 総 数	回 答 施設数	回答率 (%)	施 設 総 数	回 答 施設数	回答率 (%)	施 設 総 数	回 答 施設数	回答率 (%)	施 設 総 数	回 答 施設数	回答率 (%)
宇 城	50	48	96.0	26	26	100	14	14	100	5	5	100
玉 名	57	56	98.2	42	42	100	17	17	100	8	8	100
鹿 本	24	24	100	12	12	100	6	6	100	5	5	100
菊 池	78	77	98.7	33	33	100	15	15	100	10	10	100
阿 蘇	34	31	91.2	21	21	100	11	11	100	6	5	100
上 益 城	41	39	95.1	24	24	100	8	8	100	4	4	100
八 代	75	74	98.7	29	29	100	19	19	100	11	11	100
芦 北	25	25	100	15	15	100	9	9	100	4	4	100
球 磨	55	54	98.2	30	29	96.7	13	13	100	8	8	100
天 草	81	80	98.8	34	34	100	22	22	100	9	9	100
熊 本 市	237	217	91.6	98	98	100	58	57	98.3	34	34	100
熊 本 県	757	725	95.8	364	363	99.7	193	189	99.5	104	103	99.0

② 方法

1 歳 6 か月児及び 3 歳児においては、市町村が作成し、県に提出された「地域保健・健康増進事業報告」の中から、被検者、むし歯のある者の数、むし歯総本数、むし歯有病者率、一人平均むし歯数を算出した。保育所、幼稚園、小学校、中学校及び高等学校等各施設においては、実施された定期歯科健康診断結果に基づき、年齢別(学年別)に各項目について調査票により報告を求めた。このうち、定期歯科健康診断を実施し、それぞれに報告に不備のない施設を対象に集計を行った。

なお、就学前の保育所、幼稚園については、乳歯のみを対象に、小学校以上については、永久歯のみを対象に集計している。また、過去の数値については、合併後の市町村単位で再集計を行った。

(3) 用語の定義

① むし歯(う蝕)

むし歯は蓄積性疾患であるので、むし歯罹患の実態を評価する指数の中には、未処置のものはもちろん、歯科治療によって処置された過去のむし歯も含まれる。

1 調査の概要

(1) 目的

乳幼児期及び少年期(児童生徒)の歯科保健状況の総合的な把握を行い、地域の現状及び課題等を明確にし、効果的な地域歯科保健推進を図るための基礎資料を得ることを目的とする。

(2) 調査方法

① 対象

本調査の対象は、平成 29 年度に市町村で実施した歯科健康診査を受診した 1 歳 6 か月児及び 3 歳児並びに平成 30 年度に県内の保育所、幼稚園、小学校、中学校及び高等学校等で実施した定期歯科健康診断を受診した園児、児童、生徒とした。

なお、調査は分校も 1 施設とし、義務教育学校は小学部、中学部に分けて各々 1 施設、また、特別支援学校(盲・聾・養護学校)は幼稚部、小学部、中学部、高等部に分けて各々 1 施設とした。

圏 域 名	保育所・幼稚園			小学校			中学校			高等学校		
	施 設 総 数	回 答 施設数	回答率 (%)	施 設 総 数	回 答 施設数	回答率 (%)	施 設 総 数	回 答 施設数	回答率 (%)	施 設 総 数	回 答 施設数	回答率 (%)
宇 城	50	48	96.0	26	26	100	14	14	100	5	5	100
玉 名	57	56	98.2	42	42	100	17	17	100	8	8	100
鹿 本	24	24	100	12	12	100	6	6	100	5	5	100
菊 池	78	77	98.7	33	33	100	15	15	100	10	10	100
阿 蘇	34	31	91.2	21	21	100	11	11	100	6	5	100
上 益 城	41	39	95.1	24	24	100	8	8	100	4	4	100
八 代	75	74	98.7	29	29	100	19	19	100	11	11	100
芦 北	25	25	100	15	15	100	9	9	100	4	4	100
球 磨	55	54	98.2	30	29	96.7	13	13	100	8	8	100
天 草	81	80	98.8	34	34	100	22	22	100	9	9	100
熊 本 市	237	217	91.6	98	98	100	58	57	98.3	34	34	100
熊 本 県	757	725	95.8	364	363	99.7	193	189	99.5	104	103	99.0

② 方法

1 歳 6 か月児及び 3 歳児においては、市町村が作成し、県に提出された「地域保健・健康増進事業報告」の中から、被検者、むし歯のある者の数、むし歯総本数、むし歯有病者率、一人平均むし歯数を算出した。保育所、幼稚園、小学校、中学校及び高等学校等各施設においては、実施された定期歯科健康診断結果に基づき、年齢別(学年別)に各項目について調査票により報告を求めた。このうち、定期歯科健康診断を実施し、それぞれに報告に不備のない施設を対象に集計を行った。

なお、就学前の保育所、幼稚園については、乳歯のみを対象に、小学校以上については、永久歯のみを対象に集計している。また、過去の数値については、合併後の市町村単位で再集計を行った。

(3) 用語の定義

① むし歯(う蝕)

むし歯は蓄積性疾患であるので、むし歯罹患の実態を評価する指数の中には、未処置のものはもちろん、歯科治療によって処置された過去のむし歯も含まれる。